

教育（中学校・高校）の魅力化について

（企画課・学校教育課）

1 賀茂地域広域連携会議での検討の経過

賀茂地区においては、平成 27 年度から賀茂地域広域連携会議において、高校の在り方について検討が進められてきた。

- ・平成 27 年度・・・賀茂地域広域連携会議に教育委員会の共同設置専門部会設立
- ・平成 29 年度・・・賀茂 1 市 5 町にある高等学校（下田、稲取、松崎、南伊豆分校）の魅力化について検討開始
- ・平成 30 年度・・・検討の役割分担の決定
 - ①全体協議会＝下田高校を含む賀茂地域全体の高校の在り方を検討
 - ②稲取、松崎、南伊豆分校＝学校と地域で魅力化協議会を設置
- ・令和元年度・・・「賀茂地域教育振興方針（令和 2～5 年度）」の検討
 - 重点方針として、賀茂地域における魅力ある高校づくり推進
- ・令和 2～3 年度・・・高校の魅力化に係る先進事例研究（土肥高校、浜松湖北高校等）

2 静岡県の動き

静岡県は、現行の「ふじのくに魅力ある学校づくり推進計画（静岡県立高等学校第三次長期計画）」について、本県教育を取り巻く状況変化や課題等を踏まえ、本計画で示されている県立高校の在り方について改めて検討することとした。

この検討にあたって、学識経験者、教育・産業分野及び保護者の代表者で組織される「静岡県立高等学校の在り方検討委員会」が設置され、並行して、首長も含め地域の意見を伺う場として「地域協議会」が設置されたものである。

3 「ふじのくに魅力ある学校づくり推進計画」の検討の進め方

<令和 4 年度>

- ①県立高校の在り方に関する基本的方向性（基本方針）を策定
⇒「静岡県立高等学校の在り方検討委員会」の設置
- ②首長を含む地域の意見を伺う場として「地域協議会」を設置
⇒小笠、沼駿、賀茂地域を先行設置。議論の内容を基本方針に反映

<令和 5 年度>

- ①基本方針を踏まえて、基本計画を策定
- ②引き続き「地域協議会」を開催し、地域計画を策定

4 県立高校の在り方に係る地域協議会（賀茂地域）の開催

第 1 回会議の開催状況は以下のとおりです。

- ▶開催日時 令和 4 年 7 月 6 日（水） 15 時 15 分から 17 時
- ▶開催場所 下田総合庁舎別館 2 階賀茂キャンパス
- ▶協議事項 ①県立高校の在り方に係る地域協議会の設置
②意見交換
- ▶意見交換の主な意見
 - ・今回の検討は、県教委が高校の統廃合を前提にして開始するものという思いが強い。
 - ・少子化が進行しても、地元高校はなんとしても存続してもらいたい。
 - ・高校存続に向け、分校化、専攻科設置、ICT 導入等様々な手法を検討してもらいたい。
 - ・高校の魅力化への取り組みを一層進めてもらいたい。

5 県立高校の在り方に係る地域協議会（賀茂地域）に臨む下田市の考え方

今後の県立高校の在り方検討に向けた下田市の基本的な考え方は、以下のとおり。

【下田市の基本的な考え方】

- ▶県教委は、現時点で高校の統合を決めているものではなく、まず各市町、保護者、生徒等地域の率直な意見を聞いた後に今後の方針を検討していく方針であることを理解する。
- ▶人口減少、少子化の進行、生徒数の減少という流れの中で、いずれかのタイミングで統合の議論をしなければならなくなることは予想されるが、現時点においては、今行っている各高校の魅力化の活動を継続させ、地域にとって必要な高校のイメージや在り方を地域全員で考えることである。
- ▶現状、賀茂地区は、普通高校 3 校、園芸科 1 校であるが、将来的に向けて、地域・保護者の要望を聞きながら、どういった高校がこの地域で必要なのかを検討をする。
(分校化、専攻科、ICT 授業導入 等)
- ▶下田市として、まず地元の下田高校と「グローバルCITYプロジェクト」を柱に、高校と地域の連携、中高連携の取組を進め、下田高校の魅力の向上を目指す。
- ▶既存の 4 高校の問題は、所在する市町だけの問題ではなく、賀茂地区全体という視点で協議会の議論に取り組むこととする。